第６章　将来に向けた目標と取組

１　施策体系

基本方針に基づく施策目標と，それらに対する主要施策をまとめました。

基本方針	施策目標	主要施策
1　安全で信頼される公共交通	（1）安全性の向上	①施設の計画的な改良・更新 ②運転技能向上への取組の推進 ③安全管理体制の強化 ④軌道内電車優先運行についての啓発強化
2　便利で快適な輸送サービスの提供	（1）快適性の向上	①車両の改良・更新 ②職員の接遇マナーの向上
	（2）利便性の向上	①情報発信の強化 ②ICカードシステムの活用 ③乗客需要に見合った適切な運行本数の確保 ④料金体系についての調査研究 ⑤交通機関相互の連携強化
3　まちや地域への貢献	（1）地域社会への貢献	①地域を支える取組の推進 ②人にやさしい公共交通へ向けた取組の推進 ③環境負荷の低減
4　経営基盤の強化	（1）収益力の向上	①市電の利用促進 ②広告料収入の確保
	（2）経営の効率化	①コスト縮減の取組の推進 ②効率的な組織づくり

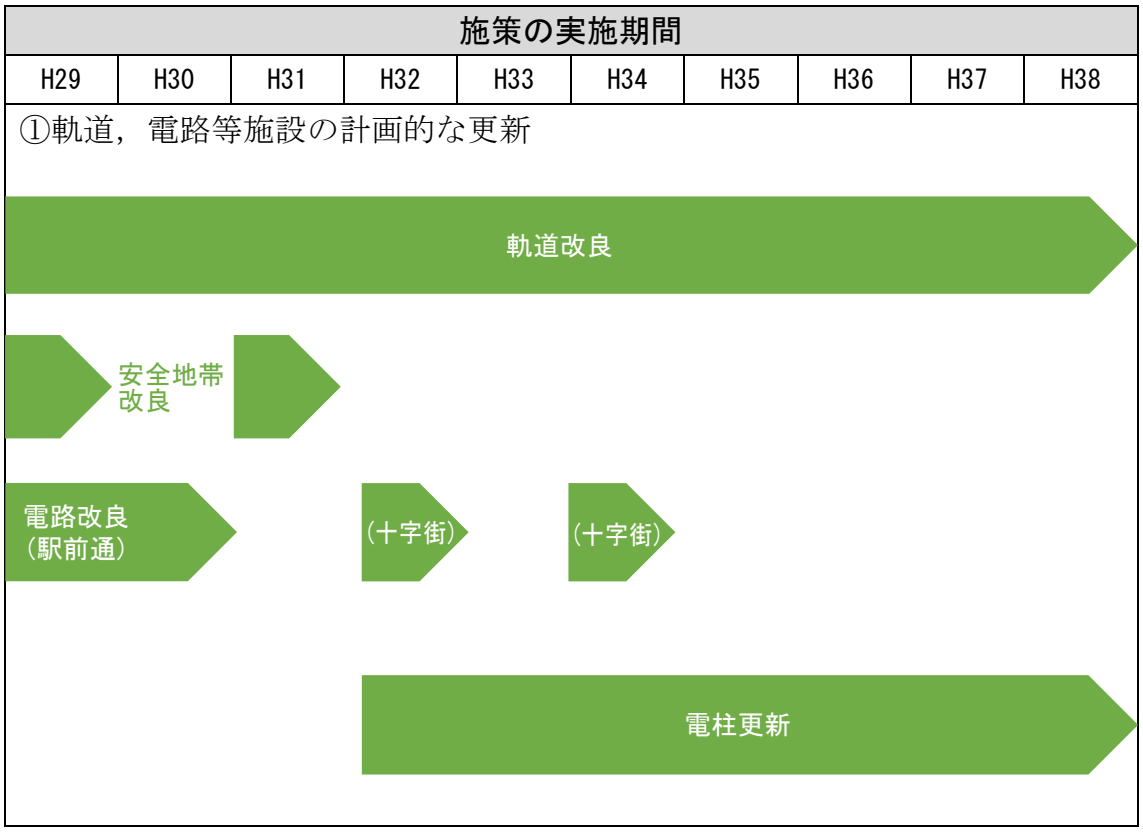
２　主要施策と具体的な取組

基本方針１
安全で信頼される公共交通

施　策　目　標

（１）安全性の向上

主 要 施 策
①施設の計画的な改良・更新 ・安全で安定した輸送サービスを提供するため，定期的な点検や修繕を行い適切な維持管理に努めるとともに，軌道の改良や電柱の更新などを計画的に進めます。 ・将来の車両工場の改修等に向け，工事方法や費用などを含めた調査研究を進めます。 ②運転技能向上への取組の推進 ・輸送の安全を確保するための様々な研修を継続的に実施し，さらなる運転技能のレベルアップを図ります。 ③安全管理体制の強化 ・安全管理体制の強化と輸送の安全性の向上を図るため，経営トップから現場までが一丸となって，運輸安全マネジメント※を推進します。 ・災害などの各種対応マニュアル等に基づく訓練や研修を定期的に行い，職員の災害等発生時の対応能力向上を図るとともに，適宜，関連マニュアル等の見直しを行うなど，一層の強化を図ります。 ④軌道敷内電車優先運行についての啓発強化 ・安全性と定時性の確保を図るため，関係機関などへのリーフレット配布による電車優先運行についての啓発に努めます。


施策の実施期間
H29
H30
H31
H32
H33
H34
H35
H36
H37
H38
①軌道，電路等施設の計画的な更新
軌道改良
安全地帯
改良
電路改良
（駅前通）
（十字街）
（十字街）
電柱更新

基本方針 2

便利で快適な輸送サービスの提供

施　策　目　標

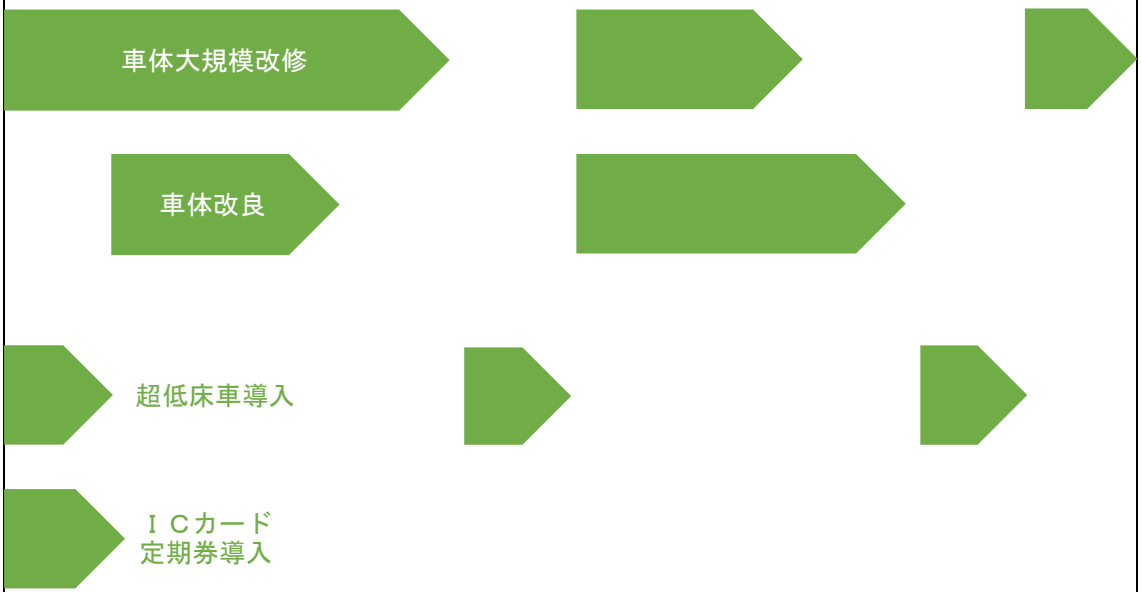
（１）快適性の向上

主 要 施 策
①車両の改良・更新 ・高齢者，障がい者をはじめとするすべてのお客様に対して快適な利用環境を整えるため，老朽化した車両の車体改良や，バリアフリー対応の超低床車への更新を計画的に進めます。 ②職員の接遇マナーの向上 ・市民や観光客などの多くのお客様に満足していただけるサービスを提供するため，電話番号の車内掲示に加えてホームページのご意見等の受付先を車内に掲示するなどお客様の声を広く集める取組や，研修などによる接遇マナーの向上に向けた取組を進めます。

施策の実施期間

H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38

①車両の更新・改良



基本方針２

便利で快適な輸送サービスの提供

施　策　目　標

（２）利便性の向上

主 要 施 策
①情報発信の強化 ・電車の現在位置や到着予定時間などの情報をリアルタイムでお客様に知らせるロケーションシステムの導入を進めます。 ・電車内の液晶ディスプレイ広告を利用した観光情報の発信や車内公衆無線ＬＡＮサービスを活用した情報発信について，検討を進めます。 ②ＩＣカードシステムの活用 ・お客様の現金支払時における煩わしさの解消やスムーズな乗降による定時性確保のため，ＩＣカードの普及促進を図ります。 ・ＩＣカードに定期券機能を導入し，さらなる利便性向上を図ります。 ・乗降情報に基づく正確な分析によって，お客様ニーズを把握するとともに，さらなる利便性向上に向けた調査研究を進めます。 ③乗客需要に見合った適切な運行本数の確保 ・乗客需要に対応する効率的・効果的な営業時間，運行時分，本数，間隔などについての検討を進めます。 ④料金体系についての調査研究 ・利用しやすい料金体系について，調査研究を進めます。 ⑤交通機関相互の連携強化 ・まちづくりや観光振興と一体となった将来にわたって持続可能な公共交通網の構築に向け，バス路線網の再編などに対応し，乗継ぎ利便性の向上をはじめとした路線バスとの連携を強化します。 ・交通機関相互の連携による利便性向上に向けたサービスの提供について，検討を進めます。

基本方針 3
まちや地域への貢献

施　策　目　標

（１）地域社会への貢献

主 要 施 策
①地域を支える取組の推進 ・安定した運行と利便性の向上に努め，中心市街地における回遊性の促進などに寄与します。 ・函館駅前通などにおいて，シンプルカテナリー方式※による架線吊架を行い，街並の景観向上に貢献します。 ・車体広告デザインについて，ガイドラインに基づき，函館の歴史的な景観に配慮した取組を進めます。 ・地域のイベントやコンベンションの開催に協力した運行などの取組を進めます。 ②人にやさしい公共交通へ向けた取組の推進 ・高齢者，障がい者をはじめとするすべてのお客様にとって利用しやすい超低床車の導入を進めます。 ・安全地帯へのスロープや上屋設置へ向けた取組を進めます。 ③環境負荷の低減 ・関係機関と連携し，自家用車から環境負荷の低い公共交通機関への利用転換の促進に向けた取組を進めます。 ・エネルギー効率の良い車両の導入や，省エネルギー運転の実施などによる電力使用量の削減に努めます。

基本方針４
経営基盤の強化

施　策　目　標

（１）収益力の向上

主 要 施 策
①市電の利用促進 ・沿線周辺の企業や商店街等とのタイアップなどによる，利用促進に向けた取組を進めます。 ・イベントの実施やＰＲの拡大などによって，市電に対する理解と関心の向上を図るとともに，需要喚起に向けた取組を進めます。 ・旅行代理店や各種団体との連携を強化し，修学旅行等の誘致や市電乗車券を含んだ旅行商品等の拡大に向けた取組を進めます。 ・メディアの活用や効果的な宣伝方法を研究し，国内外の観光客に対する情報発信の強化を図ります。 ②広告料収入の確保 ・広告商品の新たな開発や見直しを進め，企業などへの販売促進を図ります。 ・市電の意匠を使用した商品開発などに積極的に協力するとともに意匠の利用促進に努め，市電のイメージアップと収入の確保を図ります。

基本方針 4
経営基盤の強化

施　策　目　標

（２）経営の効率化

主 要 施 策
①コスト縮減の取組の推進 ・施設整備における設計方法や新たな技術・手法等について調査研究し，コスト縮減に向けた検討を進めます。 ②効率的な組織づくり ・経営環境の変化に迅速かつ柔軟に対応するため，簡素で効率的な組織体制の構築に努めます。 ・業務委託などの民間活力を活用した効率的な業務の実施について，さらなる検討を進めます。